



## 第9回 京成大久保駅周辺地区に関する意見交換会

平成 27 年 9 月 6 日（日）、勤労会館において「第9回 京成大久保駅周辺地区に関する意見交換会」を開催しました。

### 目的

京成大久保駅周辺のまちづくりについては、これまで幾度も議論されてきましたが、駅周辺にお住まいの方や、商店街の方などの意見を集約できず、今日に至っています。

そこで、京成大久保駅周辺の現状について地区の皆さまに共通認識を持っていただくとともに、活発な意見交換を行っていただき、その中からまちづくりの方向性を見出すことを目的として、この意見交換会を平成 23 年度から開催しています。

### 参加者

- ◎ 本大久保まちづくり会議（3名） ◎ 大久保・泉・本大久保まちづくり会議（3名）
- ◎ 屋敷・花咲まちづくり会議（3名） ◎ 大久保商店街協同組合（2名）
- ◎ 習志野市  
市長、企画政策部長、企画政策部次長、企画政策課長、財政部資産管理室長、資産管理課主幹、都市整備部道路交通課長、市民経済部商工振興課長、同課係長、企画政策課 3名

### 市長あいさつ



本日はお忙しい中、第9回意見交換会にお集まりいただき、ありがとうございます。今日の議題は、本年意見交換会にて実施していただいたアンケート調査結果の報告ですが、御覧のとおり様々な意見が出ております。この結果を踏まえ、これからの京成大久保駅周辺地区のまちづくりについて、皆様に意見交換していただきたいと思っております。

この会も立ち上げから9回目、そして4年目ということになります。皆様と率直な意見交換ができるようになってきましたので、発展的な形として、懇親を含めた意見交換の場としてはどうかと考えております。3つのまちづくり会議と商店会から御出席いただいておりますので、有意義な場になると考えております。このような形で、皆さんとの融和、懇親、課題解決ができればよいと考えております。

私も地元出身ですので、この会にはしっかりと関わっていく所存です。本日もよろしくご協力をお願いします。

### 【報告・意見交換】

### 「京成大久保駅周辺に関するアンケート調査」について

#### 配布先及び回収状況

調査票配布先	配布数	配布日	回収数	回収率
大久保・泉・本大久保まちづくり会議	330	2月7日	159	48.2%
本大久保まちづくり会議	198	2月10日	129	65.2%
屋敷・花咲まちづくり会議	275	2月14日・21日	147	53.5%
商店街	100	2月19日	44	44.0%
商店街以外の商店等	11	2月随時	8	72.7%
自転車駐輪場利用者	300	6月1日	64	21.3%
日本大学	100	6月9日	76	76.0%
東邦大学	100	6月9日	90	90.0%
合計	1314		717	54.6%

## 各設問に対する回答の概要

### 西側踏切付近の状況について

- ・全体では「改善が必要」とする回答が約 62%であるが、大久保商店街及び駐輪場利用者の回答では「改善は必要だがデメリットを検討すべき」とする回答の割合が高い。

### 西側踏切の 1 車線化について

- ・全体では「賛成」が約 44%、「反対」が約 23%であるが、大久保・泉・本大久保まちづくり会議、大久保商店街、駅周辺商業主、駐輪場利用者の回答では他の回答主体に比べ「賛成」の割合が低い。
- ・1 車線化を反対する理由は、「渋滞が発生する」が約 54%と最も高く、大久保商店街、駅周辺商業主の回答では、「荷物の積み下ろしができない」とする回答の割合も高い。

### 駅北側交差点付近の滞留スペースについて

- ・全体では「広い」、「ちょうどよい」を合わせて約 43%、「狭い」が約 47%であるが、まちづくり会議以外では「広い」、「ちょうどよい」を合わせた割合が半数を超え、特に駅周辺商業主ではその割合が高い。

### 全体的な傾向

- ・住民、駐輪場利用者、商業主といった「京成大久保駅との関わり方」の違いにより、課題の捉え方や、その対応方針に異なる考え方が見られる。

## 参加者からの主な意見

- ・調査結果をさらに分析し、各課題に関する対応を進めてほしい。
- ・北口駐輪場の倉庫を使用していないのであれば撤去してほしい。
- ・西側踏切付近の改善案を例示するにあたり、交通量調査の結果を示すべきではなかったか。
- ・改札付近に人が多く集まる時間帯は危険性が高く、西側踏切付近の安全性を高める必要がある。

## 今後の方向性

- ・アンケート調査の結果を正式に市長に報告することをもって、駅西側踏切付近の安全確保に関する協議を収束することとしました。

## 【報告】

## 大久保地区公共施設再生事業の現状について

### 習志野市市資産管理室からの報告

資産管理室から、平成 27 年 5 月に策定した「(仮称) 大久保地区公共施設再生基本構想」に基づき、京成大久保駅前に立地する大久保公民館・市民会館、大久保図書館、勤労会館と中央公園の一体的な再生のための基本的な考え方について説明がありました。

### 参加者からの主な意見

- ・勤労会館は、よく知らない人が多い。体育館もあり、誰でも使える施設にした方がよい。わかりやすく PR してほしい。
- ・施設を集約して人が集まることになれば、駅、あるいは周辺道路の混雑が予想されることから、交通面についても併せて検討していく必要があるのではないか。
- ・この再生事業と京成大久保駅の在り方は、同時進行的に検討されるものである。

## アンケート調査の結果を受けた市の取組について



宮本市長に報告書を手渡す小川座長

- ・アンケート調査の結果を 10 月 16 日に小川座長から市長に報告しました。
- ・駅西側踏切付近の状況について「改善が必要」との回答が半数以上である一方、1 車線化等の対策を講じた場合のデメリットについても検討すべきとの意見もあることから、市では、現状における歩行者の安全確保対策として、路側帯の形状及び歩行スペースの着色について検討を進めることとなりました。